



「JADOG」進め方について

(Japan **D**atacenter Operators' Group)

2017.10.24

ビッグロース株式会社
法人事業本部

マネージャー 石原 隆行

JADOG 設立Vision

閉鎖的な業界を開放し、業界のコミュニティを活性化する！

これまで、データセンタ事業者は「セキュリティ」という名目上、あまり情報を開放せず閉鎖的な時代が長すぎた。

今ではGoogleやEquinixをはじめ、場所も公開してノウハウを教授しているところも多数。このままではハイパージャイアントが台頭し、その他はAWSにすべて持っていかれてしまう。グローバル市場で生き残れない。

この危機感を共有し、業界メンバが老若男女、ミッションを問わず、切磋琢磨ができるJADOGというオープンな協議会を発足させる。

今後の日本のデータセンタ業界全体を発展させ、今後を担う若手育成に貢献する。業界全体を明るくものにするため、最大コミュニティを形成する。



JANOG39 in 金沢より(2017.1.19) その中でJDCC若手会の提案



JANOG40(郡山)で登壇した私

(ご参考) 前回の「ぷちJA^{DOG}」アジェンダ

実施日：9/5(火) 場所：ネットアップ本社 人数：43名

16:00	開会挨拶	BGL 石原
16:05-16:10	場所ご提供のNetApp様ご紹介	ネットアップ° 天野様
16:10-16:30	せっかくなので自己紹介+要望・課題	全員
16:30-16:50	(仮称) オープンなDCコミュニティに期待すること	BBT 西野様
16:50-17:10	DC運用で工夫していること 地方DC活性化	HBA 中野様 沖縄クロスハット° 上田様
17:10-17:30	Yahoo! JAPANにおける インフラ管理ツールの問題点 (移動)	ヤフー 松井様
18:00-	懇親会 (@4,000円)	

BoF形式です！

テーマに関して積極的にディスカッションを！



スケジュール案(振り返り)

1年 でまずは立ち上げ、3年後に **300名** を目指す！

17/3	17/4-6	17/7-9	17/10-12	18/1-3	18/4-
★JA D OG案作成	★JANOG40(福島)参戦		★JANOG41で1回目開催		
設立準備		1回目のための準備		2回目のための準備	
▲ 定期会合 有志決起集会★		▲ ぷちJA D OG (9/5)		▲ JA D OG進め方 (10/24)	

心配事

- ・有志をどの範囲までとするか（特に地方メンバはテレカンでよいのか？）
- ・定期会合の頻度（細かいのはSlackかメールでやりとり？）
- ・1回目はJANOG41と分けて実施すべきか？
- ・集客をいつからどの範囲で行うのがいいのか？（こじんまりか、ロケットスタートさせるか）
- ・事務局メンバをどれくらい募るのか、運用形式はどうするか？

JANOGのみなさん、いろいろ教えてください！

進め方（ディスカッション）

全体	☐ JANOGをお手本とした会議母体とする？（独自のものにする？） ☐ 開催は半年に1回でよい？ ☐ 地方開催どうでしょうか？（大きくなるまでは首都圏or大阪？） ☐ どうしたら、飽きられずに続くと思います？ ☐ 人員増のための施策は？（あまり増やさないほうがいい？）
事務局	☐ プログラム委員を置く？（各会でテーマを決める？ごった煮議論(BoF)？） ☐ 会場設営係は？（各社持ち回りにする？） ☐ Webサイト運営は？（Facebookページもまだだし） ☐ 運用ポリシーは定めたい？（営業行為の禁止、SNS取扱注意など？） ☐ 運営会社としてイーサイドを検討する？ ☐ クレーマーや炎上者へのリスクヘッジどうしましょう？ ☐ ライブ配信はFacebookライブでいいの？ ☐ Slackだと氏名がわからず困るー！（どうすればいい？）
スポンサー	☐ 数回経過して100人を超えてきたあたりで考える？ ☐ ブース出展は希望あればやってもらう？（100名までは無料で） ☐ 収支管理など、お金回り大変そう。利害関係生まれる。
その他	☐ DC見学会はやります？ ☐ JADOGとの関係性は？（毎回出るか、都度都度でよいか） ☐ 英語対応どうします？（ってまだ先か）※DC用語の辞書つくります？

グローバルネットコア 金子さんコメント

JADOGの立て付けについては、JANOGを参考にするというよりも、IRSみたいなものを参考にしたほうが良いと思っています。そんなにきちっとした組織ではなく、プログラム委員とかコアメンバーとか、呼び方はなんでもいいですが動けてアイデアがありそうな人でゆるく集まって、テーマや企画を決めて半年に一回くらいミーティングを開催する、というイメージですかね。半年に一度であれば、ネタが切れたり飽きるようなこともないと思いますよ。

開催場所も、何かと都内が良いと思いますが、やっぱり地方からの参加者も集めたいので、できればリモート参加の手段を提供してほしいです。

Inter-Domain Routing Security <http://irs.ietf.to/>

ウェブページは、もしも開設できるならあったほうが良いですよ。イベントの開催告知や、資料の公開場所として使えるので。

お金については、JADOG（任意団体）としては、できる限りタッチしないほうが良いでしょう。JANOGもそうですし前述のIRSなんかもそうですが、会場提供をお願いするとかはあっても、協賛金のような現金をもらうことは避けたほうが良いと思います。

DC見学は、やれるところがあるなら、コンテンツの一つとしてあってもいいと思いますよ。てか、DC見学が定期的にあるなら、すごく魅力的だと思います。

あと、JANOG41で、必ずBoFに申し込みましょう！！！！

三菱商事 Uさんコメント

本日のJADOGですが、例のPJの立上げ関連で急遽行けなくなってしまいました。。
楽しみにしていたのですが、不参加となり、申し訳御座いません。

当方が進め方に関して気になっていることは、

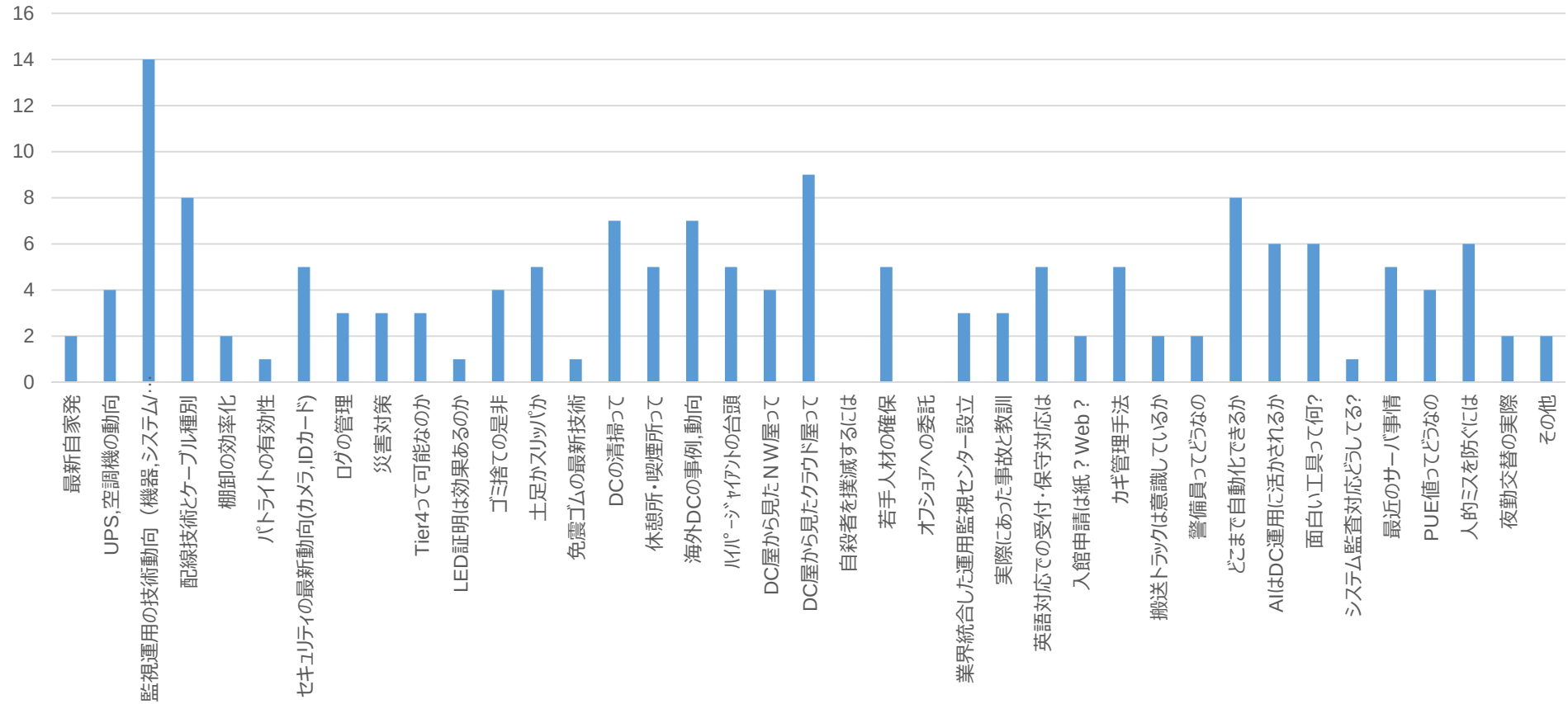
- ・DC事業は経営、営業、運用、構築等で共通言語がかなり異なる
(興味・発想も大きく異なる)
- ・カテゴリ分けせずに人を集めて議論してしまうと、特定の人に発言が集中する可能性がある
(普段関心が無い領域はついてこれない)
- ・ついては、初期の頃は予めトークテーマを決めて似たような関心を持つ人を集めた方が活発化するのでは？

という感じです。。

アンケート結果から 今後の議題をディスカッション しましょう！



期待する話題【運用】



< 投資・運用 > **粗び**・標準化 (バリエーション)

・テスト (訓練) ↗ エンジニア向上?

~~IT~~ ケーブル 現場

- ⑥ 自動化. ← ^{AWRとか} ① オペレータのモーション (コストの意味がわからない)
- ⑤ 失敗事例. (電源/NW/SV) ② 数千台のサーバ管理 (資産管理)
- (設計ミス)

DC 周辺機器ベンダの紹介はある
→ お客様とコミニケーション?
↓
あらゆる業種 (運送・警備 NW屋・SV屋) ⑤ GPUサーバ対策
② クラウドの裏の接続
① DCIM

自家産の持ち時間 (表向きと実態は? 配送は? テストは?)

DC小ネタ
(ここだけねw)

三菱商事、国内10カ所にデータセンター 2000億円投資 自動運転需要など見込む

2017/10/21 2:01 | 日本経済新聞 電子版

三菱商事は米企業と共同で2022年までに国内に約10カ所のデータセンターを新設する。投資額は2000億円で国内最大規模。電子商取引（E C）の急拡大などで利用するデータ量が急増。今後も自動運転などのサービスが本格化すると、飛躍的にデータの受送信が伸びる見通し。データ通信のインフラ整備が進むことでネットを活用した新サービスが広がりそうだ。

データセンターを運営する米デジタルリアリティトラスト（カリフォルニア州）と合併会社をつくる。同社は米国を中心に150カ所、総資産で1兆3000億円のデータセンターを保有。IBMやフェイスブック、オラクルといったIT大手を顧客に持つ。

新設するセンターではデジタルリアリティの顧客が利用することを見込む。22年の時点で200億～300億円の売り上げ規模を想定。中期的にはさらに3000億円を投じる計画だ。

データセンターは地盤の強固な場所に建てる必要がある。三菱商事は不動産開発で培ってきたノウハウを生かし、頑丈な建物を造る。現在は海外施設の利用が主流だが、データ保護の観点から国内に保存した方が安心との声も根強い。

世界のクラウドデータ利用量は25年に15年比で13倍、30年には49倍と爆発的に増えると予想される。日本には大型施設が少なく、海外のサービスではデータが海外のセンターを経由していることが多い。自動運転などが普及し始めると、海外を経由したデータの受送信で遅延が生じる可能性も指摘されている。

欧州連合（EU）では18年から個人データの域外移転が厳しく規制される。セキュリティの観点から日本で同様の動きが広がる可能性もあり、国内データセンターの需要は増加が見込まれる。

このページを閉じる

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

NIKKEI Nikkei Inc. No reproduction without permission.

SierのためのITインフラビジネス戦略会議 2017

**「Sier×データセンター事業者」の共創で拓く
新しいビジネス、次のマーケット**

クラウド&データセンター
完全ガイド
dc-cloud.impress.co.jp for Digital

2017.10.13 金
インプレス セミナールーム (東京・神保町)

参加無料

開催概要 タイムテーブル

本セミナーは、事前登録を締め切らせていただきました。
誠に恐れ入りますが、キャンセル待ちはお受けいたしておりません。
ご了承のほどお願い申し上げます。

SIerとDC/クラウド事業者、両者それぞれの強みを持ち寄って創る ITインフラのBest Solution !

昨今、エンドユーザー企業の大半が自社情報システムの最優先テーマに「データの高度活用」や「データの安全確実な保護」を挙げ、取り組みの文字どおりの基盤となるITインフラの強化刷新を推し進めています。

エンドユーザーのIT支援に携わるシステムインテグレーター (SIer) におかれては、競争激化の著しいこのマーケットで、顧客のニーズを高いレベルで満たす魅力的なITインフラサービス/ソリューションの開発・提供に力を注がれていることでしょう。

上述の幅達から、オンプレミス環境のみならず、外部データセンター/クラウド基盤サービスの活用に着手するユーザーが急増しています。そうしたユーザーに対して、SIerの皆さまがクラウド/オフプレミス移行やハイブリッドITインフラ構築といったソリューションを提供する際、どんなデータセンター/クラウド基盤を採用し、そこでのような付加価値を実現しようとお考えでしょうか。

「クラウド&データセンター完全ガイド」の主催で今回お届けする【SierのためのITインフラビジネス戦略会議】。エンドユーザーへの高付加価値ITインフラの提供という、SIerとデータセンター事業者共通の課題をテーマにした、セッション&ディスカッション形式のセミナーです。

ファシリテーターに、世界のコンピュータネットワーク/データセンター研究の第一人者で、業界のビジネス/マーケティングのこれからを追究する江崎 浩・東京大学大学院教授を迎え、共創可能なソリューションやなすべきアクションを探ります。

参加者全員に有用なヒント・アイデアを持ち帰っていただくことを目的とした本戦略会議にふるってご参加ください !

株式会社インプレス
クラウド&データセンター完全ガイド
編集長
河原 潤

ご来場特典 !!

特典
「クラウド&データセンター完全ガイド」
1冊をプレゼント
お好きな特典をお選びください
(号によっては数に限りがございます)

主催

クラウド&データセンター
完全ガイド
dc-cloud.impress.co.jp for Digital

スポンサー



ディープラーニング事業(案)



内容

自動運転の要である「ディープラーニング」を NVIDIAのGPU Powerと、xx社のSI構築技術力により、自動車メーカーと共同研究を行う。

理由

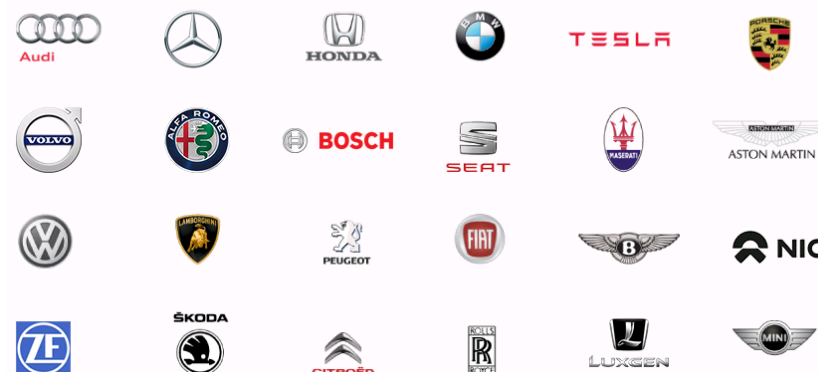
世界の自動車メーカーはほぼNVIDIA。日本の自動車メーカーが遅れをとっている。日本の自動車メーカーと組むことも意味が大きい。

差別化
ポイント

NVIDIAの強烈なGPUサーバを処理するデータセンタはまだまだ試行段階。いち早くxx社が共同研究を開始することで、自動運転のインフラノウハウを担い、日本で最先端の事例を構築する。

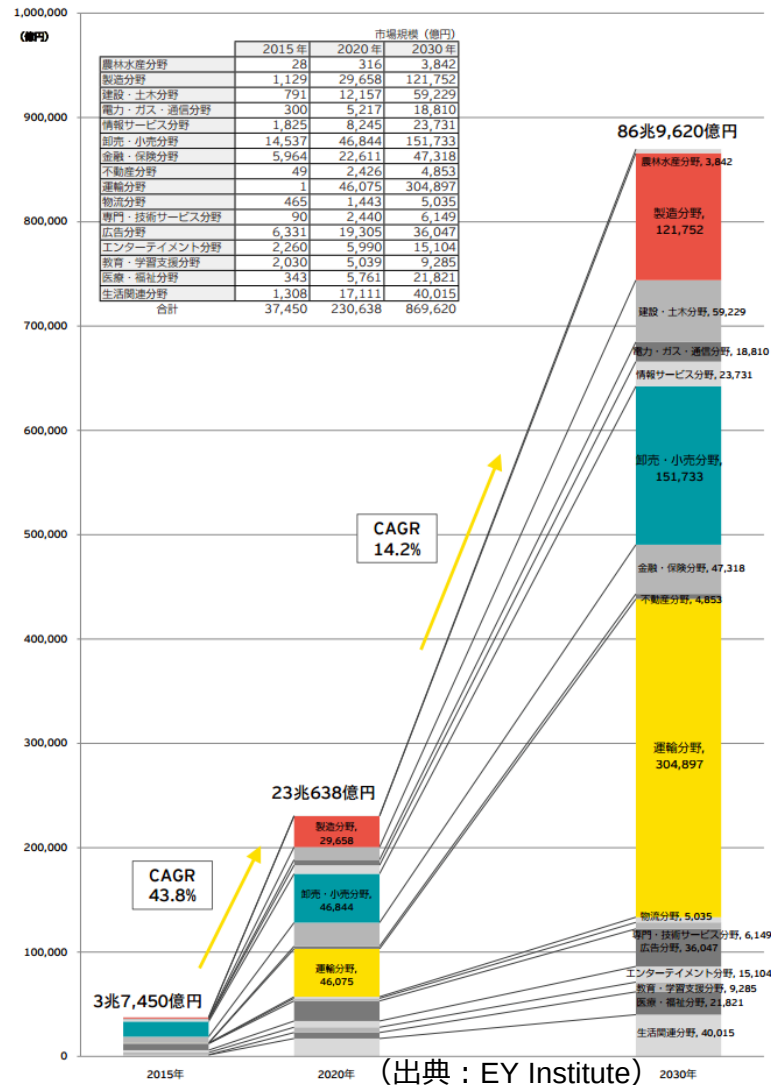
その他

とにかくGPUが強烈なため、電源と空調には相当用意周到せねばならない。

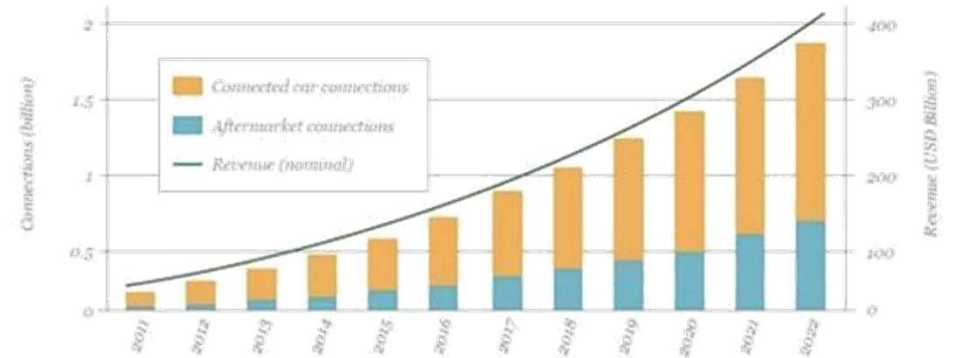


市場データ

AIの市場規模は2030年に86兆円！



コネクテッドカー市場は4,220億円！



出所: Machina Research, 2013.6

NVIDIA QUARTERLY REVENUE TREND

Revenue by Markets

(\$ in millions)	Q2 FY16	Q3 FY16	Q4 FY16	Q1 FY17	Q2 FY17	Q3 FY17	Q4 FY17	Q1 FY18
Gaming	\$ 660	\$ 761	\$ 810	\$ 687	\$ 781	\$ 1,244	\$ 1,348	\$ 1,027
Professional Visualization	176	190	203	189	214	207	225	205
Datacenter	72	82	97	143	151	240	296	409
Auto	71	79	93	113	119	127	128	140
OEM & IP	174	193	198	173	163	186	176	156
Total	\$ 1,153	\$ 1,305	\$ 1,401	\$ 1,305	\$ 1,428	\$ 2,004	\$ 2,173	\$ 1,937

NVIDIA社
直近発表の
四半期売上高推移



NVIDIA社
株価推移

スパコン/GPUを支える液冷技術 （@東工大）

- ① サーバやラックでの液循環
- ② 液浸ラック

※写真は非公開となります。すみません。

BIGLOBE